

第16回 神戸電鉄粟生線活性化協議会 議事録

日時：平成25年3月29日(金) 10:30～12:30
場所：三木市役所 5階大会議室 出席者：別紙のとおり

開 会

(1) 第15回協議会議事録の確認

- ・第15回協議会の議事概要について議事録の確認がなされた。

(2) 報告事項

① 神戸電鉄粟生線活性化協議会規約（別表1）の一部変更について

- ・事務局より委員、オブザーバーの交代に伴う規約変更の報告があり承認された。

② 平成24年度（～2月）神戸電鉄粟生線の輸送人員実績について

- ・神戸電鉄・三津澤委員より、資料-3-1 報告。
- ・24年度4～2月の対前年比は、定期外-2.4%、定期-1.8%（通勤-2.5%、通学-1.0%）、合計-2.0%となっている。前回報告後の推移としては、1月に降雪の影響により定期外の増加があった一方、2月は昨年閏年の反動（営業日数が1日減少）により定期外の減少があった。仮に、このまま推移した場合、本年度の粟生線輸送人員は目標の730万人に対して668万人程度にとどまる見込みである。
- ・神戸電鉄より、資料-3-2に基づき、粟生線の直近状況等について補足説明。
- ・平成25年度は、秋口より再び高校移転が予定されているが、それまでは通学定期において足元の大幅なマイナス傾向が続く見込みである。そのような中、これまでの取り組みに加え、さらに押し上げ施策を講じることで、第2次連携計画における輸送目標700万人台を達成していきたい。
- ・西鈴蘭台駅の乗降人員と駅周辺人口の減少が顕著なことから、同駅を起点に運行している神鉄バスの星和台線において、本年3月30日の初便から減便等のダイヤ改正を行う。

③ 平成24年度における協議会の取り組み状況について

- ・事務局より、資料-4 報告。
- ・「シニアパス」は、1-3月期の販売が速報値で1,200枚を超えるなど引き続き好調を維持している。
- ・「粟生線～三宮 平日昼間&土休日お得きっぷ」は、残念ながら採算ラインとする1,200セット/月まで利用が増えず、現行スキームでは神戸電鉄の減収につながるため、継続発売をすることは困難である。
- ・「粟生線通勤カムバック補助金」は、300人の募集に対して16人（3月27日現

在)の申込があった。PR方法としては、自治体広報誌内に申込書を折込み、自治会を通じて全戸配布(約72,500戸)したほか、栗生線活性化協議会ホームページへの掲載、沿線企業への直接訪問、新聞全面広告(神戸電鉄単独事業)等を実施したが、申込者数が想定以上に少ないことから、自治体施設等でのポスター掲出や駅周辺等への看板掲出など継続的なPRを行っていく。

- ・「栗生線サポーターズくらぶ」の入会者数は2,934人(3月22日現在)、加盟店数は3月より28店舗となった。引き続き入会・加盟促進に努める。
- ・2月23日に第1回の「栗生線サポーターズくらぶの集い」を開催し、66名の方に参加いただいた。
- ・「駅前パーク&ライド時間貸し駐車場」は、各駐車場とも利用は増加傾向にあるものの、押部谷や小野第2時間貸し駐車場では、パーク&ライドでの利用が少なく、一時駐車の利用が多い傾向にある。
- ・3月19日からの栗生線全線開通60周年記念入場券の発売に合わせ「ミュージアムトレイン『しんちゃん&てつくんミュージアム』の運行」を開始した。
- ・その他の取り組みについて資料を基に報告。

○座長、委員より以下の質問・意見があった。

- ・「栗生線通勤カムバック補助金」は何を見て申込に至ったのか定量的に把握しているのか?把握していないのであれば、早急に把握し、今後の施策に活かすようにして頂きたい。(座長)
⇒現時点では把握できていないが、補助金請求時にはアンケートにご回答いただくこととなっており、ご指摘の点をはじめ、制度上の問題点等についても幅広くご意見をいただいて、今後の施策に活かしていきたいと考えている。
(事務局)
- ・「栗生線通勤カムバック補助金」は1回限りの制度であるが、補助金交付後はどうなるのか。そもそもの制度の趣旨を含めて教えていただきたい。(委員)
⇒制度は、定期代を引き下げて利用促進を図ることを目的としたものではなく、栗生線を残したいという思いを行動に移していただくためのきっかけの1つ(いわゆる「お試し」)として創設されたと理解している。利用が継続されることを望むが、本来の趣旨を十分に理解した上で運用にあたっていただきたい。(座長)
- ・現時点の申込者数は16人と少ないように見えるが、年間の輸送人員に換算すると11,520人(16人×2回×30日×12カ月)になる。輸送人員の増加に向けて手応えのある数字と評価できるので、継続的なPRにより、更なる増加を図っていただきたい。(座長)
- ・時間貸し駐車場は、一時利用が多く神戸電鉄の利用につながっていないのではないかと。(委員)

⇒パーク&ライドに利用されているか否かについては、サービス券（電車利用者は100円割引）の利用率を見ていただければわかる。例えば、小野時間貸し駐車場においては、4～2月累計で69%となっており、パーク&ライドでの利用が多いことがわかる。（事務局）

④パブリック・コメントの結果について

- ・事務局より、資料－5、6報告。
- ・今回の意見等提出数は22件と前回の90件に比べれば減少しているが、粟生線を残すためにはどうしたらよいかという前向きなものが多く、市民の残してほしいといった強い思いが伝わってくる内容であった。

(3) 議事

■議案1号 神戸電鉄粟生線地域公共交通総合連携計画（案）（平成25～28年度）について

- ・事務局から議案－1資料説明。

○座長より、前回の計画は事業者である神戸電鉄と行政とが前面に立ってリードしていく、どちらかと言うとハード主体の内容であったが、今回の計画は地域の主体的な取り組み・参画が重要となるソフト面の施策が中心となっているとのコメントがあったほかは質疑がなく、本議案は承認された。

■議案2号 事業計画（案）（平成25～28年度）について

- ・事務局から議案－2資料説明。
- ・議案書では平成25～28年度となっている一方、議案資料では平成25年度の事業計画となっている。平成26年度以降については効果等を検証した上で具体施策等の見直しを行い、当該年度にご審議いただくものの、取り組み方針ならびに金額レベルでは28年度まで同様の計画であるとの主旨である。
- ・「地域協働推進事業費補助金」については現時点で制度・予算化されていないが、制度・予算化されれば活用をしたいとの主旨である（従って、金額も未定）。

○座長・委員より以下の質問・意見が出されたが、計画に対する反対意見等はなく、本議案は承認された。

- ・議案－2－1資料における項目（6）「駅を中心としたまちづくりの推進」の具体策は、項目に合致していないように思うが、再開発や宅地開発といった本来のまちづくり施策はないのか。（委員）

⇒平成24年度に緑ヶ丘駅北側において中高層住宅の建設が可能となるよう用途地域変更を行った。土地の規制緩和等により、駅を中心としたまちづくりを推進していきたいと考えている。（事務局）

⇒実際にそのように考えているのであれば、具体施策についても項目やメニューに沿うような形で記載していただきたい。（座長）

- ・ 北播磨総合病院が10月から開業するが、神戸電鉄からのアクセスについて説明がない。予め周知していただきたい。(委員)
 - ⇒ みっきいバスの路線再編により神戸電鉄各駅へのアクセス改善を図りたいと考えている。(事務局)
 - ⇒ 事業団では、榎山駅から総合病院間で列車のダイヤに合わせて運行するシャトルバスを計画していると聞いている。(委員)
- ・ (5月19日に実施されたダイヤ改正に伴い) 志染～粟生間で減便されたが、行政としてどのように考えているのか(バス輸送には力を入れているが、鉄道輸送のことは考えていただけないのか)。(委員)
 - ⇒ 神戸電鉄の経営上の問題でもあり対応が難しい。三木市としては、減便に対応したバスの運行を考えているが、実態を見て判断していきたい。(委員)
- ・ 「粟生線～三宮 平日昼間&土休日お得きっぷ」は、お得ではあるが有効期間が1ヵ月で使い勝手が悪い。有効期間の延長はできないのか。(委員)
 - ⇒ お得きっぷはひと月の利用を1～2回増やして頂きたいとの思いから大きな割引率を設定している。有効期間を3ヵ月にすると回数券と同じ制度となり、回数券を更に割引していることとなるので、転移による大幅な減収が懸念される。(事務局)
- ・ お得きっぷは採算ラインを超える発売がなく、継続発売をすることが困難と記載されているが、発売が伸びない理由を把握しているのか。(委員)
 - ⇒ お得きっぷは利用を増やして頂くことが前提となっているものの、実際には別の乗車券(昼間割引回数券等)からの転移がほとんどであり、それらでは減収となっている。しかしながら、採算ラインまで延びれば、新たに需要が喚起された部分で減収を補えると考えているのだが、お得だけではなかなか需要が喚起されないということだと思われる。(事務局)
- ・ 神戸電鉄の言い分も理解するが、やはり使い勝手も含めて利用者のニーズをくみ上げることも大事ではないか。また、小型バスによる代替では輸送量が限られる。これから高齢者が増えていく中で、その足となる輸送力を減らすことが地域にとって得策なのか。北播磨総合病院についても、施設の整った子供用の病院が近くにないため利用したいが、電車も少ないしバスの情報も聞こえてこないから心配だという声も聞く。神戸電鉄も行政も利用者の立場に立って考えていただきたい。(委員)
 - ⇒ お得きっぷ以外にも様々な割引券があるものの、それが利用者によく伝わっていないのではないかと思う。情報を整理してお伝えするとともに、サポーターズくらぶ等を通じてニーズをくみ上げる仕組みを作っていただければと思う。また、輸送力の問題については、移動をしたいというニーズに対

して応え得る体制になっているかが重要である。企業の経営面から見れば利用実態に合わせてダイヤを見直すことは止むを得ない一方、地域の足を支えるといった側面から見ればプラスアルファが必要であり、鉄道とバスをうまく組み合わせることが求められる。この問題については、すぐに結論を出せる訳ではないので、今後とも議論をしていきたい。(座長)

(4) その他

- ・ 事務局から参考－1資料に基づき、平成25年度協議会運営スケジュールを説明。

閉 会

以上

第16回 神戸電鉄粟生線活性化協議会 出席者（敬称略）

○委員

| 氏名 | 所属・役職 | 出欠 |
|--------|------------------------|------|
| 三島 功裕 | 神戸市企画調整局 技術担当部長 | |
| 井上 仁志 | 三木市 まちづくり部長 | 代理出席 |
| 岩崎 一喜 | 小野市 総合政策部長 | |
| 三津澤 修 | 神戸電鉄株式会社 常務取締役 鉄道事業本部長 | |
| 武川 潔 | 押部谷町連合自治協議会会長 | |
| 中野 美都子 | 押部谷町連合自治協議会副会長 | |
| 蓬莱 道龍 | 元 三木地区区長協議会会長 | |
| 安福 恵子 | 前 三木市区長協議会連合会会長 | |
| 田中 歳彦 | 元 小野市連合区長会会長 | |
| 多鹿 豊 | 小野市商店街理事 | |
| 土井 勉 | 京都大学大学院 工学研究科 特定教授 | |

○オブザーバー

| 氏名 | 所属・役職 | 出欠 |
|--------|--------------------------|------|
| 加納 陽之助 | 国土交通省 近畿運輸局 企画観光部 交通企画課長 | |
| 山本 勝 | 国土交通省 近畿運輸局 鉄道部 計画課長 | 欠席 |
| 濱 浩二 | 兵庫県 県土整備部 県土企画局 交通政策課長 | |
| 高瀬 教文 | 兵庫県 神戸県民局 企画課 課長補佐 | 代理出席 |
| 神崎 敏道 | 兵庫県 北播磨県民局 まちむら交流参事 | |
| 竹本 真也 | 神戸市西区 まちづくり推進部 まちづくり課長 | |